

# 会長を語って



## 「産業振興によるまちづくり」 魅力ある中心市街地の創造

利府町商工会

会長 菅野 博氏

○会長さんのご商売について  
お聞かせください。

オフィス家具、リニューア  
ル、OA機器販売・リース、  
各種事務用品、スポーツ用品  
を扱う「株式会社 三章堂」  
を昭和五十六年に創業し、現  
在、代表取締役社長を務めて  
おります。

私の元々の出身は東松島市  
(旧鳴瀬町)なのですが、伯  
父が塩釜で文房具店を営んで  
いた関係から、高校卒業後、  
入社いたしました。主に官公  
庁・学校関係を中心とした営  
業を長く担当させて頂いたこ  
とで、自信とともに経営を志



中心市街地活性化の核となる利府駅

す原点となり、現在でも大き  
な財産となっています。

○利府町で創業されるきつ  
けは何だったのでしょうか。

当時の利府は本場に何もな  
いところでしたが、営業時代  
に新幹線車両基地に出入りし  
ていたことと仙台市の人口増  
加が続く中、隣接地として発  
展の可能性が期待できること  
に魅力を感じたことが大きな  
理由です。

○最近の経営環境と地域の経  
済環境はいかがなものでしょ  
うか。

地域にとっては、まだまだ  
厳しい経済環境が続いており  
ますが、利府町は仙台市のベッ  
トタウンとして、居住環境や  
インフラ整備が特に充実し、  
人口の増加とともに、大型店  
や専門店の出店が相次ぎ、近  
隣市町からの集客力もアップ  
しており、大変魅力も秘めた  
地域であると言えます。

商工会としては、こうした  
地域の強みを活かした具体的  
な事業戦略を打ち出し、行動  
していきたいと考えています。

ない時代となりました。関係  
機関が一致団結し、地域の総  
合力が成否を分けるものとの  
思いから、昨年の六月にTM  
O「株式会社まちづくり利府」  
を設立いたしました。今後は、  
商工会とTMOが連携し、二  
月六日「利府町中心市街地活  
性化協議会」を立ち上げ、利  
府駅前を中心とするイオン利  
府SCまでのエリアを中心市

針等がありましたらお聞かせ  
ください。

人・モノ・金・情報がグロ  
ーバル化する昨今、これから  
のまち(地域)づくりは、一  
組織の力だけでは成功は覚束  
ない

# がんばる女性さん



## 「ひとつひとつにまごころを込めて」 日々、地域への感謝を

株式会社 佐沼葬儀社

代表取締役 富士原 裕子さん

登米中央商工会

わが社の経営理念は「まご  
ころ葬儀」・「地域への貢献」  
です。

「まごころ葬儀」とは、施  
主家の立場に立ち、故人やご  
家族様にまごころをこめて仕  
事に取り組み、お客様から  
「ありがとうございます」「おかげさま  
」と言っていただけの会社を目  
指すと言うことです。また一  
方、「地域への貢献」ですが、

常日ごろから地域の皆様に感  
謝の気持ちを忘れず「私たち  
で何かお役に立つことがあれ  
ば・・・」と言う考えのもと、  
社長以下社員全員で地域の様

々な行事・事業等に積極的  
に参加・協力し、地域の皆様と  
のふれあいを通し信頼関係を  
築くという事です。この理  
念を二本の柱とし、創業以来  
社業にまい進した結果、多く  
の皆様よりお葬儀の指名をい  
ただくまでに成長してまいり  
ました。

サラリーマンだった主人が  
昭和六十二年十月に佐沼の地  
に会社を設立し、今年で創業  
二十周年を迎えます。私が主  
人と一緒に仕事を始めたのは  
五、六年経ってからです。こ  
で

街地とする「官民一体による  
魅力あるまちづくり」を目指  
していきたいと考えています。  
最後に、会員がこれまで培  
ってきた「地域への熱い想い」  
を一日でも早く「かたち」と  
して実現していきたいと考え  
ておりますので、会員をはじ  
め関係機関の皆様のご理解と  
ご協力をお願い申し上げます。